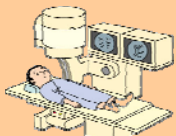


地域連携診療計画書【急性期】(脳卒中地域連携パス 北九州標準モデルver.2)

氏名		性別	男 女	年齢	歳
----	--	----	-----	----	---

**急性期病院** (約 週間) には

- 診断と専門的な治療を行います。
- 主治医の指示で、血液検査・心電図・レントゲン・CT・MRI・脳血管撮影などの検査を行います。
- 治療の計画、リハビリテーションの計画を立てます。



★患者さんのご家族に病状の経過について、説明します。

リハビリテーションの目的 ≧ 寝たきりの予防、早期離床、早期自立

★急性期のリハビリ訓練

ベッドの上で上半身を起こしたり、座る練習をしたり、立ち上がる練習をします。



★ご本人・ご家族と退院後の生活について、話し合います。



直接、ご自宅へ退院できる状態の患者さん

専門病院で集中的なリハビリ訓練が必要な状態の患者さん

集中的なリハビリが困難な患者さん

介護保険の手続きなどが必要な場合や、福祉サービスの利用など。  
(医療相談員にご相談ください)

ご本人・ご家族の希望をうかがって、病院を探すお手伝いをします。  
(医療相談員にご相談ください)

ご本人・ご家族の希望をうかがって、療養型の病院や施設を探すお手伝いをします。  
(医療相談員にご相談ください)

自宅等への退院

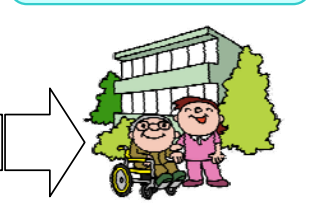


急性期病院から回復期病院への転院  
(転院の基準)

下記基準を満たす場合、復帰に向けて回復期リハビリテーション病院などで、リハビリテーションを実施します。

- ・全身の状態が安定している
- ・集中的リハビリ訓練ができる精神的および身体的な能力がある
- ・在宅生活の可能性がある

介護施設などへ入所



説明者  
病院名: \_\_\_\_\_ 説明者: \_\_\_\_\_  
説明日: \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

患者さんサイン

◆この計画書は、標準的な経過を説明したものです。患者さんの状態により、異なる経過になることもあります。ご質問がありましたら、遠慮なくスタッフにお尋ねください。